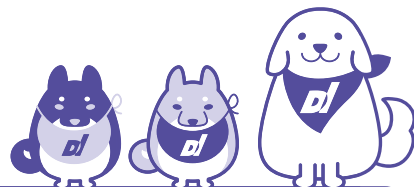




とうばる あきこ
桃原 亜希子

担当 賃貸管理部 お客様係



気持ちのいい秋風が吹きわたるころとなりました。今年の5月に入社いたしました桃原 亜希子と申します。

皆様のお力になれますよう日々精進してまいります。

さて、今月のお題『思い出の映画』という事ですが、今から約30年ほど前になりますが、私が初めてみた映画の感想を書きます。

題名は『天使にラブソングを』、主演はウーピー・ゴールドバーグです。

彼女が演じるのは売れない歌手のデロリスですが、清々しいくらいの明るい人物像で私は、序章の段階で虜になりました。デロリスは殺人事件を目撃してしまいギャングに追われる事になり修道院へ逃げ込む形になります。修道院では厳しい規律があり、窮屈な日々を送ります。そんなある日、聖歌隊での指揮者に任命されたデロリスは持ち前の自由奔放な性格で歌手としての本領を発揮します。最初は酷かった聖歌隊も段々と明るい雰囲気になっていきます。

私が一番好きな場面では大人しく弱々しかったロバート（聖歌隊の女性）が一番、綺麗な歌声で聖歌隊の中心になった場面です。あの頃の私は、ソフトボール部に所属し夢中になって毎日部活動に参加していました。

同じ部活の同級生や先輩とともに、日々楽しく過ごしていました。楽しかった学生時代と映画の中の雰囲気が時折、似た情景と重なります。今でも大好きな作品の一つです。